

発行所  
 青森県高等学校・障害児  
 学校教職員組合  
 青森市橋本1丁目2-25  
 教育会館017(734)7287  
 編集発行人 酒田 幸  
 購読料一部20円は組合費  
 の中に含む

今月の紙面  
 2~3面:労働条件なるほど講座  
 「給料明細の見方と福利厚生」  
 4面:各集会参加報告  
 \*HPへはこちらから→



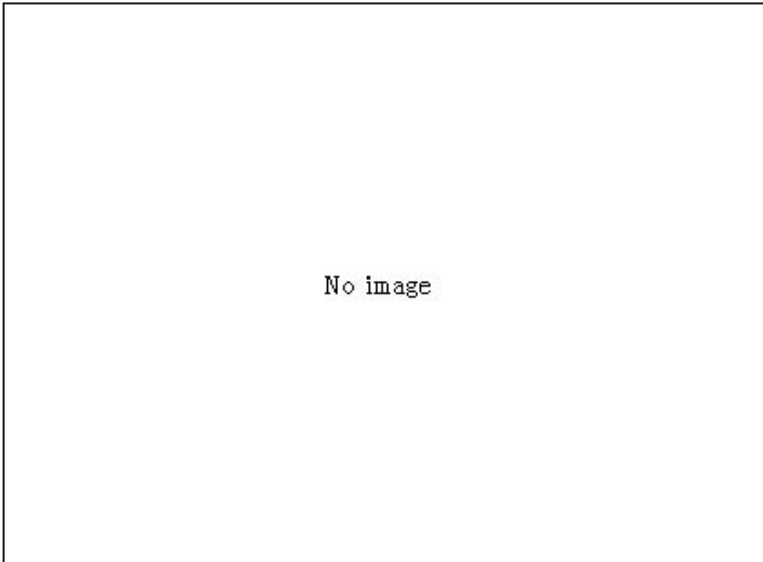
Eメール aokokyos@olive.ocn.ne.jp ホームページ http://aokokyoso.q2.xrea.com/ ブログ http://plaza.rakuten.co.jp/sannkyoso05/

# 新しい仲間を迎えた春! がんばれ新採用者!!

## 「春の教育実践講座」開催!

新しい時代となる2019年度。希望に胸を膨らませ、新たに教職の門を叩いた皆さんに向けて、高教組では、歓迎と励ましの取り組みをしました。今後も高教組では教職員の思いにこたえる取り組みを進めていきます。

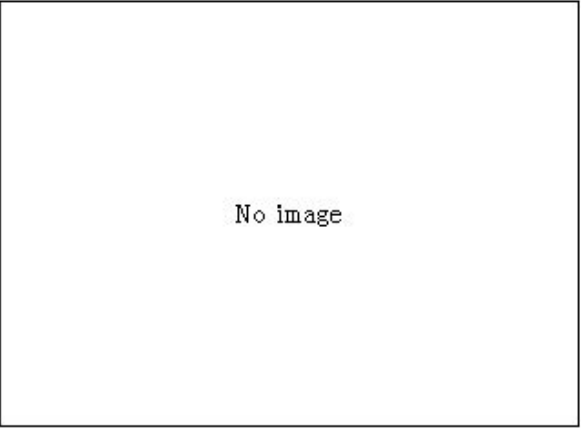
青森県教育会館で「2019春の教育実践講座」が開催されました。この講座には各校種の先生たち、また保護者の方など50名以上が集まりました。全体講演では、「こどもも教師も安心していられる教室を作ろう」というテーマで、宮崎充治氏(弘前大学教育学部教授)が講演しました。講演の中では、「やわらかな教室」をつくるためのゲームを参加者全員で行い、その効果を実感しました。また、日々の声掛け



No image

熱心な講演を行った宮崎充治氏(弘前大学)

が見られました。高教組では、委員長、青年部長をはじめとする5名で組合を紹介するリーフレットなどを配布しました。「採用おめでとう。組合です」と声をかけ、一人一人に手渡すと、しっかりと受け取り、中身



No image

新採用者にパンフレットを渡す青年部長

## 「辞令交付式」組合リーフレット配布!

4月1日、青森県総合学校教育センターで新採用者辞令交付式がありました。今年も新元号発表の日でもあり、発表直後から続々と集結してくる新採用者の表情には、新たに教職員として歩み始めることや、新時代に向けての希望

や「ふりかえりジャーナル」などを使った子どもとの対話の重要性について学びました。講演の中で特に印象に残ったのは、「正義」「強さ」の強調に対し、「ケア」を」という言葉でした。後半は、「校則・ゼロトラランス」を考える」というテーマの分科会に参加しました。頭髪・服装・携帯電話の使い方などに関する校則とそれに関わる指導について協議し、松本史晴弁護士(県弁護士会子ども権利委員会委員長)より法律的な観点から助言を頂きました。

を確かしていました。「虎の穴」で学んだ塾生もいて、共に採用を喜びました。新採用の皆さんには今後組合についての説明を個別に行う予定です。たくさんの方が組合に関心を持ち、仲間に加わってほしいと願っています。

## 風道の坂

昭和、平成、令和。共通一次テスト元年世代であり、定年の年に大学共通テスト(新テスト)を迎えるのは皮肉な巡り合わせか。これまで、幾多の教育改革があつたが、生徒のためになるものだったか▼

コンピニ、パソコン、スマホ、インターネットなど昭和の高校生になつたものが、平成には生徒たちに無尽蔵に注がれてきた。この30年間は生徒にとって、保護者にとって、私たちににとって本当に幸せを感じる事ができた時代であつたのか▼職員会議では意見が激しく交わされ、学習サークルでは温泉宿に100人も先生の方が集い、朝まで生徒のこと、学校のこと、そして自分たちの生活のことを語り合ったものだ。今は、主體的な学び、対話的な学び、深い学びが新教育課程のキーワードだが、私たち教職員が主體的・対話的な学びを見失つてきていると感じるのは間違いだろうか。「命令されて和む」と揶揄されることなく新しい時代を主體的に仲間と生きていきたい。(浩)



府県、市町村に支払われます。これは前年度の所得にかかりますから、今まで収入のなかった人は次年度からかかることとなります。

⑩共済短期・長期掛金

公立学校の職員となったその日から公立学校共済組合の組合員となります。共済組合員である証明として「共済組合員証」が交付されます。

・短期：報酬月額の前定割合が医療費・福祉事業等の財源にあてられます。

・長期：報酬月額の前定割合が年金等の財源にあてられます。

・年金払い退職給付掛金：報酬月額の前定割合が年金等の財源にあてられます。共済年金と厚生年金の一元化により、2017年から公務員の年金の職域加算部分に相当する部分が分離され、新たに「年金払い退職給付」という制度が生まれました。

⑨共済介護掛金

40歳から介護保険の掛金が引かれます。給料の前定割合が介護制度の財源にあてられます。

⑧互助会掛金

教職員互助組合掛金として差し引かれます。ほぼ全員が互助会加入です。

Q：青森県教職員の福利厚生について教えてください。

青森県の教職員に対する福利厚生事業は、大まかにいえば、別表の3つになります。このうち、「公立学校共済組合」「青森県教職員互助会」にはほぼ全員が加入していると思います。「青森県教育厚生会」には未加入の方がいます。厚生会に入会している方に

は、給料支給日に厚生会の「徴収明細書」が来ます。来ていない方は未加入ですので、この機会にぜひ加入をご検討ください。

「公立学校共済組合」「青森県教職員互助会」

「公立学校共済組合」は、主に健康・年金に関する事業を行っています。普段病院に提出する「保険証」を発行し、年金・介護保険の取りまとめをしていますので、ここへの加入は必須で

福利厚生は、上手に活用すれば健康・生活を向上させて、子どもたちの教育にも有効です。それぞれの特徴をおさえて、活用しましょう。

青森県における教職員の福利厚生事業			
事業名	公立学校共済組合	青森県教職員互助会	青森教育厚生会
加入	採用時自動加入(必須)	共済組合加入時に加入届は必要	加入届提出
会員証	保険証	会員証	会員証(全教共通カード)
会費等	共済掛金(天引き)	互助団体掛金(天引き)	所定額天引き *会費は退職時に全額返金
給付など	・保険証発行 ・出産、育休手当、休業、死亡への対応 ・火災見舞い ・ペネフィットステーション	・医療費補助、入院見舞金 ・結婚、出産、入学祝い金 ・災害見舞い ・弔慰金	・会員証提示による各種割引、特典 ・幹旋事業(映画、Disneyランド優待券の発行他) ・教員免許更新講習補助 ・厚生事業への参加 ・文化事業
関連事業1 本人	・検診事業 ・年金事業 ・貸付事業	・宿泊施設利用補助 ・芸術鑑賞補助 ・スポーツ観戦補助 ・貸付事業	・貸付事業 ・各種保険団体扱い ・保険代理店 ・退職互助事業
関連事業2 教育		・図書贈呈など教育文化にかかわる事業	・教育報奨金 ・奨学金 ・教育事業補助

\*公立学校共済組合・青森県教職員互助会にはほぼ全員が加入しています。教育厚生会には加入届提出による任意加入になります。加入しなければ各給付等は受けられません。

この他、教育公務員共済会(日教弘)、教職員共

その他の共済事業

「青森県教育厚生会」は、青森県教育厚生会は教職員の任意加入で福利厚生事業を行っています。迅速で手軽な貸付事業、全国組織とも連動した幹旋事業、映画観賞券の割引販売、生命保険等の団体割引、保険料等の支払い代行、教員免許更新講習受講料補助給付、退職後の医療費補助など一生を通じた福利厚生事業を行っています。 「厚生会」に加入することで、より多くの福利厚生を受けることが可能となります。会費が必要となりますが、厚生会の会費は退職時に全額返ります。加入には別に加入申込書が必要です。

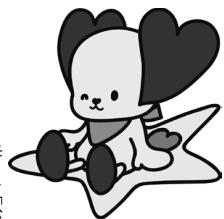
す。また、職場検診もこの事業の一環です。

「青森県教育厚生会」

「青森県教育厚生会」は、健康・年金に関する事業を行っています。普段病院に提出する「保険証」を発行し、年金・介護保険の取りまとめをしていますので、ここへの加入は必須です。 「公立学校共済組合」「青森県教職員互助会」にはほぼ全員が加入していると思います。 「青森県教育厚生会」は、主に健康・年金に関する事業を行っています。普段病院に提出する「保険証」を発行し、年金・介護保険の取りまとめをしていますので、ここへの加入は必須です。

加入状況の確認を

これらの会費等は給与からほぼ天引きされていますので、加入情報は、給料明細の「現金支給B」に出



全教共済の総合共済は特にお勧めの共済!!

一番のお勧めは「全教共済」です。「全教共済」は全日本教職員組合が行っている共済で、「教職員の『生活』のちと健康」「身分」を守るために、全国の教職員の助け合いの輪として大きく広がっている共済です。特に「総合共済」は毎月600円の掛け金で、たくさんのお勧めがあり、その上掛け金は退職時に全額返還されるのでお勧めです。掛け金は厚生会加入であれば、給与天引きとなります。月たった600円で大きな満足を得られます。また、教職員の「身分」を守るための「全教自動車保険」もお勧めです。教職員が重大な自動車事故を起こし、起訴をされると、教職員として失職の可能性があるのです。このリスクをカバーする保険は「全教自動車保険」だけです。まずは見積もりから。ぜひ、ご検討ください。この他にも多数の共済があります。「全教共済」については高教組までお問い合わせ下さい。

集まれば、元気!

# 全国、支部の仲間とつながって!

毎年4～5月は、全教専門部総会や支部の歓送迎会が開催されています。普段なかなか集まらない仲間でも、一堂に会し交流すると、不思議と元気が湧いてきます。仲間とのつながりを強く意識できた全教女性部、中南支部の集会を報告します。

## みんなを優しく包み込む 要求で闘おう。

### 全教女性部総会

桜散りかけの東京。4月13日から1日半の日程で、「全教女性部第29回総会」に参加しました。人生初の署名活動にも参加しました。「学校における働き方改革に関する取組の徹底について(通知)」が出されたことを受け、議論はこの辺りに集中しました。

はじめに「『学校における働き方改革』って何?」というテーマで、全教常任弁護団事務局長の齋藤園生先生の講演を聴き、4つの問題点を確認しました。①超過勤務の上限規制はできたが罰則も残業代支払いもないこと。②隠れ残業や「帰れ帰れハラ

STEMがあっても委託できる仕事が少ない) ④変形労働を導入する基礎事情が学校にはないこと。の4つですが、不必要な仕事がない以上、この解決にはまず教員数の増大は必須であり、最後は保護者、地域の理解と協力にかかってくるかとめられました。

議事は滞りなく執行行われ、全ての議案が賛成多数で可決されました。また

### 中南支部定期総会&歓送迎会

4月13日、中南支部定期総会・歓送迎会が開催されました。総会では中弘南黒地区労連から副議長の山本公行氏と青森高教組本部から黒沼書記次長を来賓に迎え、9名が参加しました。

2018年度の活動を総括し、2019年度の活動方針を確認しました。その後、各分会や一人一人の様子を報告しあいました。

総会後は、歓送迎会(春の懇親会)を行いました。

「長時間過密労働とハラメント根絶で子どもも教職員も笑顔で過ごせる学校に」という特別決議も可決されました。

大会に参加されていた全国の皆さんは地道な活動を続けられ、新たな権利を獲得できたり、また、獲得できなくても改善されていたりしています。「要求や交渉などの」戦いは攻めるだけのものではなくみんなを優しく包むもの」という竹中前女性部長の言葉が印象的でした。※竹中部長は総会の終了をもって退任となりました。

## 支部の仲間とのつながりをより強めることを目指して!

2名の退職者を交えて、楽しくいろいろな話をしました。退職者からは、組合と

## 青森高教組定期大会に 参加しよう!

### 八戸で2回目の開催!

6月15日土曜日、八戸市「八戸シーガルビューホテル」にて、障害児・青年・臨対部等の専門部委員会を10:30、高教組第80回定期大会を12:45開催します。費用(宿泊・交通費)は全て組合でもちます。今回は大会として、2回目の県南での開催です。若干遠くなる地区の方もいますが、県南地区の皆さん以外にも積極的な参加をお願いします。組合員の皆さんには、この大会を含めた三大行事への一つ以上の参加を呼び掛けています。多数の参加をお願いします。

### 集まろう!語り合おう!!

今、学校現場は様々な面で、教職員のみなさんの息

のかかわりや全教共済にお世話になったことなどが話されましたが、「組合に入ってたよかった」「全教共済は教員生活の助けになった」と暗れやかな表情で語っていました。

多忙化の中、集まるこ

苦しい状況はかつてない段階に入ってきています。長時間勤務、ハラメント、生徒の学びなどたくさん課題があります。現場の皆さんの声を集めて、高教組として一つにまとまって、県教委と交渉をすることで、少しずつ前進していきます。一人一人の力は小さいけれど、つながること初めて大きな力を生み出すことができます。私たちのエネルギーは集まること、つながることにより大きくなるのです。

お互いの状況を受け止め合い、知恵を出し合い、前に進んで行く思いを共有する、そんな大会にしたいと思えます。「集まれば元気、話し合えば勇気」、本部執行委員一同、皆さんの参加をお待ちしています

No image

四ツ谷駅前での署名活動を行った全国からの参加者

れハラ スメン ト」の 温床に なるこ と。③ そもそ も適正 でない 業務は 少ない こと。 (民間 に委託 するシ

No image

歓送迎会で乾杯をする中南支部